

平成 28 年度 第 2 回土木計画学委員会幹事会 議事録

日時：平成 28 年 9 月 9 日（金） 15：15～17：00

場所：仙台国際センター会議棟小会議室 1

■ 出席者

委員長：屋井 鉄雄（東京工業大学），副委員長：赤松 隆（東北大学）

幹事長：羽藤 英二（東京大学）

50 周年記念事業実行委員長：桑原 雅夫（東北大学）

H28 秋大会開催校：杉山 和一（長崎大学）

H29 春大会開催校：白柳 洋俊（愛媛大学）

委員兼幹事：内田 賢悦（北海道大学），金森 亮（名古屋大学），榊原 弘之（山口大学），
Giancarlo Troncoso Parady（東京大学），羽鳥 剛史（愛媛大学），原 祐輔（東北大学），
平田 輝満（茨城大学），福山 祥代（東京大学），三島 あい（片平エンジニアリング），
柳沼 秀樹（東京理科大学），山口 敬太（京都大学）

■ 資料

- [資料 1] 第 1 回土木計画学委員会幹事会 議事録（案）
- [資料 2-1] 学術小委員会報告
- [資料 2-2] 大会運営小委員会構成，大会運営小委員会平成 28 年度体制
- [資料 3-1] 大会運営小委員会報告
- [資料 3-2] 秋大会開催校準備状況
- [資料 3-3] 2017 年度春大会開催校準備状況
- [資料 4-①] 平成 28 年度土木計画学研究委員会幹事会 タスク役割分担（案）
- [資料 4-②] 平成 28 年度土木計画学研究委員会名簿
- [資料 4-③] 研究小委員会対応，研究小委員会設置申請書（新規 2 件）
- [資料 4-④] ホームページの修正・更新状況，CMS ページの管理方針
- [資料 4-⑤] 国際セミナー実施状況
- [資料 4-⑩] 平成 28 年度予算執行計画（案）
- [資料 4-⑪] 50 周年記念シンポジウム準備状況，50 周年関連行事秋大会プログラム案

■ 議事

1. 委員長・副委員長挨拶

屋井新委員長より挨拶があった。

- ・新幹事には多忙な中引き受けていただき感謝。委員会運営や新しい企画など、幹事会メンバーに柔軟に機動力を持ってやってほしい。
- ・来年から計画学の51年目が始まる。土木学会の100年宣言も一度レビューし、土木学会の中の計画系の役割を、意識を持って担ってほしい。

次に、赤松副委員長から挨拶があった。

- ・学会を活気あるものにしようという特任のつもりでやっている。
- ・秋大会で新たな制度を試す。継続的にどんどん変えていくものと考えている。今後ご提案をお願いしたい。

2. 前回議事録確認

- ・資料1に基づき前回議事録の確認が行われ、認められた。

3. 学術小委員会報告（報告：榊原）

- ・D3特集号の状況： 登載率は過去2年と同程度であった。
- ・秋大会の準備状況：
 - 優秀論文，特別論文を新たに開始する。
 - 優秀論文は5編選出され，11/4の懇親会場で表彰を行う予定。
 - 投稿数は昨年に比べて少なかったが平均より多い。

(以下議論)

- ・特別論文が少ない印象（12編）だが，認知について学術小委員会で議論などがあったか。
→30編ぐらいを予想していたが，もっと早くアナウンスすべきだったかもしれない。
- ・博士課程を育てるような質の高い議論にすることを目指している。博士課程ではここで2回ぐらい発表することを標準にするようにしたい。ベテラン・中堅にも若手が目標にするような発表をお願いしたい。
- ・優秀論文賞について，発表は同じ内容か，変えてもよいのか。
→特に指定していない。

4. 土木計画学研究発表会の準備について

(1) 大会運営小委員会報告（報告：榊原）

- ・大会運営小委員会は秋大会で発足し，第1回会議を行う予定。

- ・春大会を担当する副委員長は決定済み。秋大会の担当はこれから人選の予定。
- ・なお、学術小委員会については、来年の1年目委員は昨日候補決定。秋大会のプログラム編成を行う。

(以下議論)

- ・表の方:計画学委員会の副委員長2と幹事長の任期が同じはずなので確認・修正のこと。

(2)秋大会準備状況(長崎)報告(報告:杉山)

- ・会場及びプログラムについて説明。
- ・グラバー園で懇親会を行い、発表会場から電車を運行する。
- ・開催助成金制度を申し込む予定。宿泊場所・日数を参加者に書いてもらって宿泊施設の情報と突き合わせるなどを行う必要がある、1000人超えることが必要。
- ・開催校HPは今月中に動くようにしたい。
- ・世界遺産登録にちなんだ講演を調整中。
- ・土日は食堂が開いていないのでお弁当をやる予定。

(以下議論)

- ・助成制度について、毎回同じことがあるので計画学で自動化するとよいのではないか。
- ・依頼事項をあらかじめはっきりさせて開催校幹事に伝えるようにすること。
- ・委員会やワークショップなど、会議スペースが必要になる。場所は確保しているか。
→準備している。部屋がばらばらなので使い易い形になるよう用意したい。

(3)春大会準備状況(愛媛)報告(報告:白柳)

- ・前年度終了の公共政策デザインコンペについて、北村記念賞として残す方向で検討中。
- ・前大会に引き続き展示ブースを募集する予定。
- ・前日1000人規模の国際シンポジウムがあるため、早めの宿確保を呼びかけたい。

(以下議論)

- ・コンベンションビューローに申請する場合、宿泊証明が必要となる。申し込みの際に対応することで事務局の手間が低減できるならやったほうが良い。調べて共有してほしい。
- ・公共デザインコンペについて、
 - 論文を書くとなるとデザインをしたい人は出さない可能性が高く、応募が少なくなるのではないか。論文とパネルの関係も難しい。問題が解決されていない感じがする。
 - やめるという判断をしたのだから一旦やめてもよいのではないか。
 - 各大学の教育としてどの程度のことをやっているのか共有する場としてもよいのでは。
 - 一回休みということで、演習的な科目のカリキュラムの内容や作品の紹介をスペシャルセッションと組み合わせて行うような取り組みもよいのではないか。

4. 平成 28 年度幹事担当タスクの検討状況報告

①幹事会タスクの役割分担について（報告：羽藤）

①活動評価・中期目標対応：特になし

②本委員会・全国大会対応（報告：事務局（福山））

- ・土木計画学研究委員会の新体制を報告.

③研究小委員会対応（報告：内田）

- ・各小委員会の活動状況，新規小委員会設立申請（2 件）：「応用一般均衡分析と交通分析の統合に関する研究小委員会」（小委員長：小池淳司）「交通サービスの脆弱性評価小委員会」（小委員長：家田仁）の申請内容を報告.

（以下議論）

- ・HP の活用度を次の委員会で報告するなどして活用を促す.
- ・小委員会活動の活性化が課題．ワンデイセミナーをやらないところは延長を受け付けられないなどの対策が必要.
- ・小委員会の活動がダイジェストで理解できる機会があると良い．3,4 年に 1 回まわるような形で研究発表会等での発表等の機会を設けてはどうか.

④HP 担当（報告：福山）

- ・HP の更新・IPML の管理状況，CMS 化の状況を報告.

（以下議論）

- ・小委員会の HP 担当者のメーリングリストを作るとよいのでは.
- ・一般向けのページの活用について，学生委員が学生活動をブログでまとめる，ハンドブックが出るので用語をそこから拾って出すなどが考えられる．HP 担当で検討してほしい.
- ・英語のページが弱いので，留学生や外国人教員とのネットワークをつくって拡充するなど，活用方法を検討してほしい.

⑤国際セミナー（報告：三島）

- ・H28 年度の開催状況について報告.

⑥国際センター・出版委員会担当

（議論）

- ・計画学の出版が少ない．成果を形にすることが必要．ワンデイセミナーグループで小委員会を刺激して出版への流れを作してほしい.

⑦ワンデイセミナー・シンポジウム

（議論）

- ・ワンデイセミナーの申請フローを HP に載せること.

⑧全国大会研究討論会

(議論)

- ・ 来年の全国大会の企画を新メンバーで考えてほしい。国際化は重要なテーマ。

⑨総務担当：特になし

⑩財務 WG 担当（報告：福山）

- ・ 収入の確定額を踏まえた平成 28 年度予算を報告。

⑪50 周年関連行事（報告：原）

- ・ 50 周年記念シンポジウムと秋大会でのプログラムについて報告。
- ・ 秋大会では、前 3 回の総括をする。パネルディスカッションは、様々な研究スタイルからロールモデルが見つけれられるようなものにしたい。

(以下議論)

- ・ シンポジウムの内容を PDF 化して土木学会図書館に上げるようにしたい（著作権に配慮）。
- ・ 他の若手の先生とも情報交換して意見を共有したほうがよい。
- ・ シンポジウムの参加者の確保状況はどうか。→各大学の先生にお願いする予定。
- ・ ポスト 50 周年は今回幹事になった方のメインのタスクとなる。50 周年行事にも参加してほしい。

以上